

**令和6年度 第1回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録**

1 開催日時

令和6年5月30日(木) 午後2時から午後4時まで

2 開催場所

いわき市文化センター 3階 大会議室

3 出席者

- (1) 児童福祉専門分科会委員(15名のうち12名出席) ※五十音順
赤津慎太郎委員、阿部育美委員、荒川正勝委員、伊藤順朗委員、
草野祐香利委員、佐藤光徳委員、志賀達生委員、菅波香織委員、
富樫那都子委員、新妻沙織委員、藤谷美由記委員、松本美穂子委員
- (2) 事務局(12名)
こどもみらい部：長谷川部長、村上次長兼総合調整担当
こどもみらい課：篠原参事兼課長、箱崎課長補佐、遠藤主任主査兼企画係長、
丹野主査、山口事務主任
こども支援課：國井課長、佐々木主幹兼課長補佐、野崎主幹兼課長補佐
こども家庭課：赤塚課長、坂本主幹兼課長補佐

4 報告事項

- (1) 福島県児童虐待事例検証報告書を受けた今後の対応について(資料1)
(2) 令和6年4月1日現在の待機児童数について(資料2)

5 協議事項

- (1) 地域型保育事業の地域型保育給付に係る確認について(資料3)
(2) 子ども・若者の意見表明機会の確保に向けた取組について(資料4・5)
(3) 令和6年度のスケジュールについて(資料6)

6 会議の形式等について

- ・ 委員半数以上の出席があり、会議が成立していることを確認した。
- ・ 会議を公開することを確認した。
- ・ 議事録は、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。
- ・ 議事録署名人は伊藤順朗委員、藤谷美由記委員の2名を選出した。

7 内 容

～報告事項～

(1) 福島県児童虐待事例検証報告書を受けた今後の対応について（資料１）

発言者	発言内容
会長	報告事項(1)の「福島県児童虐待事例検証報告書を受けた今後の対応について（資料１）」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料１に基づき説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
委員	（意見等なし）
	特に意見が無ければ、次の議題に移ります。

(2) 令和６年４月１日現在の待機児童数について（資料２）

発言者	発言内容
会長	報告事項(2)の「令和６年４月１日現在の待機児童数について（資料２）」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料２に基づき説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
委員	（意見等なし）
	特に意見が無ければ、次の議題に移ります。

～協議事項～

(1) 地域型保育事業の地域型保育給付に係る確認について（資料３）

発言者	発言内容
会長	協議事項(1)の「地域型保育事業の地域型保育給付に係る確認について（資料３）」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料３に基づき説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
委員	（意見等なし）
	特に意見が無ければ、次の議題に移ります。

(2) 子ども・若者の意見表明機会の確保に向けた取組について（資料４・５）

発言者	発言内容
会長	協議事項(2)の「子ども・若者の意見表明機会の確保に向けた取組について（資料４・５）」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料４・５に基づき説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
A委員	放課後児童クラブでの市長との意見交換について、児童クラブの利用者は、低学年が主流だろう。 各クラブで高学年が入れない状況もあり、低学年では市長と意見交換をするまでの成長がまだ見られないのではという心配がある
事務局	今回予定している放課後児童クラブは、４年生から６年生の児童が利用しているところを検討している。 なるべく、高学年の方に参加してもらう予定である。

(3) 令和６年度のスケジュールについて（資料６）

発言者	発言内容
会長	協議事項(3)の「令和６年度のスケジュールについて（資料６）」について、事務局より説明を求める。
事務局	資料６に基づき説明
会長	事務局の説明に対し、何か意見・質問があれば発言願いたい。
B委員	オンラインで意見聴取する期間が６月から３月までと説明があったが、計画の素案ができる前に意見を聞くような期間設定の方が良いのではないか。 聴取期間をできるだけ長く設けたいとの意図もあると思うが、どういう考えか。
事務局	オンラインでの意見聴取期間は６月から来年３月となっているが、具体的には２つの方法を想定している。 一つは、計画策定の参考とするため、高校生や大学生からオンラインで意見を聴取する仕組みを、もう一つは、現在予定している「いわき市子ども・子育て支援サイト」のリニューアルにあわせて、恒常的に様々な方から意見を聴取できる専用ページを設ける考えである。

(4) その他

発言者	発言内容
会長	全体通して聞きたいことなどはあるか。
C委員	待機児童数について、福島市と郡山市で20人ぐらいいたのが、次の年から0人になっている。どのような対策をしたのか。
事務局	福島市と郡山市については、令和3年以降、待機児童解消のための国の取組みの強化とあわせて、丁寧な対応を続けてきた結果、ゼロが続いていると伺っている。 いわき市も同様に努力を続けており、障がい児など配慮が必要な児童が多くいる中で、受入体制を強化しているところである。 今回は希望している施設でどうしても保育士の勤務体制が整わないということで1名の待機児童が出てしまった。 なお、保育所は利用できていないが、他の支援サービスを活用していると伺っている。
D委員	いわき市で虐待の検証事例になるようなケースが非常に多いという意見を最近聞いたが、二度とこういったケースが起きないために、具体的にどのようなことをされているか聞きたい。 また、子どもの意見表明機会の確保に関して様々な施策が挙がっており、積極的に進めて頂ければと思う。 例えば、児童福祉専門分科会に子ども・若者に委員として参加してもらうなど、他に考えていることがあれば聞きたい。
事務局	虐待への対応について、まず「こども家庭センター」の設置によって、一体的支援をできるような仕組みづくりを整えた。 導入したものとして、アセスメントシートの項目を追加し、乳幼児用のアセスメントシートを導入したところである。 また、母子保健から切れ目なく児童福祉に繋がるような業務フローを作成し、改めて地区センターに周知したところである。 今後の対応として、本市では令和3年度に虐待マニュアルを策定しているが、その中で、例えば若年妊婦等については特定妊婦等に位置づけるなど、ルールづくりを改めて位置付けた方がいいというところもあり、1年をかけて検討したいと考えている。 加えて、発見力や対応力を磨くため、母子保健コンシェルジュ、ケースワーカーや保健師等を対象とした研修の実施を検討しているところである。

会長	まず1点目の虐待対応については良いか。
D委員	はい。 事後対応の充実も大事だと思う一方で、予期せぬ妊娠がきっかけとなったケースが続いていたかと思う。 中高生の避妊しない性行為のトラブルであるとか、予期せぬ妊娠のトラブルなどに対して、未然に防ぐというところにも力を入れていかなければいけないと思う。
会長	2点目の子どもの意見表明機会について事務局にお願いしたい。
事務局	本分科会への子どもの参画というご意見は以前もいただいたが、実施は難しく、まずは資料に掲載した様々な内容を今年度はプランの作成のために実施したいと思う。 また、今年度のプラン作成で終わることなく来年度以降も同様の機会を設けて、子どもたちに「自分たちが主役だ」、「自分たちには権利があるのだ」ということの啓発を進めたいと思う。
E委員	国から出された政策を基に、いわき市独自のものを考えていくということでご説明を頂いたが、少子化を止められていないことが大きな問題だと感じている。 ウェルビーイングという言葉が用いられることもあるが、満遍なく市民生活が向上するように、早目に行動で示して頂ければと思う。
F委員	私は他県からいわき市に嫁いできて、現在二児の母である。 保育所から大勢で遠足に行く公園などがいわき市には無いと感じている。大きい公園だと、21世紀の森公園、三崎公園やいわき公園だが、小さい子供が安心して遊べる場所が少ない。 オムツ交換などでも設備が整っていないと感じており、いわき市で子育てができて嬉しいと思えるような環境づくりをして頂きたいと思う。 また、保護者から見ても障がいを持ってらっしゃる方かなというお子さんが大勢おり、小学校でも支援学級がたくさんあると感じている。 一緒に元気に過ごすのはとても良いことだと思うが、障がいを持った子どもと一緒に過ごす側の子どもが我慢をしてしまうことがある。 「障がいを持っているのだから仕方がないね。」と子どもが我慢しているのも保護者としては辛いところもあるので、小学校から支援学校はあるかと思うが、幼児が入れるような支援施設などを設置する考えはあるのかなと、意見として思った。

会長	子どもが気軽に出かけられるような公園等の話は部署をまたぐ形になるが、ご意見があったものを丁寧に進めて頂くとしつつ、その他事務局から説明できるところはあるか。
事務局	少子化対策については、こどもみらい部だけでは立ちいかないところがあるので、部局横断で進めたいと考えている。 また、待機児童の関係で頂いたご意見が新しい観点だった。 統合保育か専門施設かというところについては、統合保育でお子さんに我慢をさせている面があるということだが、一方でインクルーシブということでお互いにとって良いところもある。 せっかくの機会なので、いろいろなご意見をお聞きできればと思う。
会長	せっかくの機会ですので、ご意見を頂きたい。
C委員	私も県外で子育てをしたことがあるが、お母さんと子どもたちが利用できる無料の施設というのが、いわき市では少ないと感じている。 地元から離れ、親や友達もいない状態で子どもとずっと2人きりだて行き詰ってくるが、県外にいた時は施設の職員さんが親身になって、「お母さん大丈夫ですか。最近どうですか。」と言ってくれて、ストレスを少し発散させてくれるような感じだった。 いわき市では、無料の施設に連れて行っても、そういうサポートは無いように感じる。 虐待とかではないが、お母さん自身が病んでしまうとそういうところにも発展してしまうのかなと思うので、お母さんをフォローできるような、子育てに行き詰らないようにサポートができる施設が多くなればいいなと感じる。
会長	他にご意見等あるか。
G委員	私立の幼稚園や保育所でも支援の必要な子どもの割合が増えている。 私立でも積極的に受け入れているというのはお伝えしたい。 また、園としては受け入れたいが、受け入れるには保育士や幼稚園教諭が必要となり、保育士がいないのでお断りせざるを得ないという状況はここ数年続いているかと思う。
会長	他にご意見等あるか。

E委員	いわき市は浜通りのため除外されているが、県内でも消滅する市町村が出てくるという報道が最近あったことから、少子化対策は一番に進めてもらえればと思う。 先日、県内で産婦人科さんや助産師さんの人手不足というのが大変問題になっており、会津地方では田島や南会津の方が1ヶ月ぐらい前から会津若松市にアパートを借りて出産の準備に入らないと出産できないこともあるという話を聞いた。 相馬市と南相馬市には産婦人科の先生がいて、出産もできるようになるということだが、現時点では福島市まで通う必要があるという話も聞いた。 双葉8町村では特に子供たちの受入れを進めており、ランドセルを渡すことや各種検定料を無料にするなどしており、田村市でも経済的支援をしている。 いわき市では実施済のものもあると思うが、積極的なPRも必要かと思う。
D委員	いわき市では出産適齢期の女性が減っているという話が最近あり、いわきに戻る女性と戻らない女性の違いについてのデータがあったら面白いなと思っていた。 若い女性が浜通りやいわき市でかなり生きにくさを感じている。女性差別やジェンダーギャップも非常にある地域と言われているところもあるので、そういう女性の生きやすさという視点も併せて考えていくことが少子化対策に繋がるかと思う。
会長	若者がいわき市に戻るかというところで、事務局から何かあるか。
事務局	市内に魅力的な企業や雇用がたくさんあるということを若者にアピールすることを1つの目的として、商工会議所と市・県が共同で立ち上げた、「いわきアカデミア推進協議会」という組織がある。 その協議会の一事業として昨年アンケート調査を実施したところ、なぜいわき市に戻ってこないのかという理由で一番大きいものとして、約4割は賃金だった。 いろいろと検証は必要だが、賃金に対してのインセンティブが、若者が高校卒業後に、本市を選ばない一番の理由というところだった。 一方で、首都圏で生活するということは、賃貸物件などの生活費が相当かかるので、そういった認識をしている若者に別な訴求・アピールの仕方を考える必要があるのかなと思う。 現実には首都圏と比べれば本市の企業は給料が低い部分も多いかと思うが、全体的に過ごしやすさとか、そういったところもアピールする必要

	があるのかなと、お話を聞きながら感じた。 現に実施している施策でも、キラッとひかるものもたくさんあるので、そのアピールという意味でこどもみらい部としても、わかりやすく情報発信をしていきたい。 特に子育て情報の見やすさや発信の仕方については、今後さらに一段と力を入れていく考えである。
E委員	少子化対策として3人目を産んでもらうことが、一番大事だとデータで見せてもらった。 福島県は元々3人目までいるご家庭が多いのかなと思っていたが、それで出生率をある程度まで保てていたのかなと感じている。 3人目からの給食費の無償化や大学費用の一部免除など、もし実施していないものがあれば、3人目に着目したいわき市独自の施策が必要かと思う。
会長	ここまで貴重なご意見を頂いた。 事務局から何かあるか。
事務局	事前に相談させていただいた第2回の会議日程については、6月25日の午前9時半から予定している。
会長	それでは、様々な意見を出して頂いてありがとうございました。 この辺で、本日の会議の方は閉めさせていただきたいと思います。 皆さん、貴重なご意見をいただくことができました。 ありがとうございました。